

(様式第1号)

令和7年度宮崎県立図書館システム更新業務企画提案書項目別審査基準・配点表

内容	基準点
標準より非常に優れた提案	5
標準より優れた提案	4
標準的な提案	3
標準よりもやや劣る提案	2
標準よりも劣る提案	1

提案者()

評価項目			審査内容	配点	採点(ア)	重み(イ)	評価点 (ア)× (イ)
1 基本的事項・考え方							
1-1	企業情報	企業概要	企業概要及び企業の資格取得状況等	5		1	
		類似業務の実績	自治体(他都道府県・市町村等)に対する導入実績	10		2	
1-2	システムコンセプト		本システム構築にあたってのコンセプト、特徴、アピールポイント等(短期的視点、中期的視点等での利便性、優位性等)	15		3	
1-3	事業実施	業務実施体制	構築業務に係る責任者、実施体制、役割分担、県立図書館との連絡窓口等	15		3	
		プロジェクト管理	プロジェクト管理方法	15		3	
		スケジュール	開発期間や運用後安定稼働するまでの全体スケジュール	15		3	
合計 75点				小計			
2 構築・機能・操作性に関する事項							
2-1	システム機能	システム全般	図書館システム(職員が利用、一部来館者が利用)とWebシステム(一般県民がインターネット経由で利用)、他のシステムとの連携等、システム全体のパフォーマンス、効率性などの特徴	15		3	
		窓口(貸出)	操作性、機能の特徴	5		1	
		窓口(返却)	操作性、機能の特徴	5		1	
		窓口(予約)	操作性、機能の特徴	5		1	
		窓口(利用者関連)	操作性、機能の特徴	5		1	
		窓口(督促管理)	操作性、機能の特徴	5		1	
		業務検索	操作性、機能の特徴	5		1	
		収書	操作性、機能の特徴	5		1	
		目録	操作性、機能の特徴	5		1	
		所蔵	操作性、機能の特徴	5		1	
		帳票	操作性、機能の特徴	5		1	
		OPAC	機能及び表示の特徴	5		1	
		ホームページ管理	機能及び表示の特徴	5		1	
		デジタルアーカイブ	操作性、機能の特徴	5		1	
		郷土情報データベース	機能及び表示の特徴	5		1	
		レファレンス管理	操作性、機能の特徴	5		1	
		横断検索	機能及び表示の特徴	5		1	
		相互貸借	操作性、機能の特徴	5		1	

評価項目			審査内容	配点	採点(ア)	重み(イ)	評価点 (ア)× (イ)
		マイライン機能	操作性、機能の特徴	5		1	
		遠隔地貸出・返却	操作性、機能の特徴	5		1	
		蔵書点検	操作性、機能の特徴	5		1	
		緊急対応	操作性、機能の特徴	5		1	
		団体貸出等	操作性、機能の特徴	5		1	
		データベース端末	有用性、セキュリティ	5		1	
		インターネット端末	有用性、セキュリティ	5		1	
		電子書籍サービス	操作性、機能の特徴	5		1	
2-2	開発の柔軟性	開発途中で、県立図書館からの要望について対応できる範囲及び開発協議の回数	10		2		
2-3	拡張性	特定の開発環境に依存しないソフトウェア開発を考慮しているか	10		2		
		機能追加等が発生した場合の対応方法(迅速かつ安価に実現するための工夫等)	10		2		
2-4	データ移行	確実にデータ移行を実施するための工夫	10		2		
		データ移行に関する詳細なスケジュール、体制等	10		2		
合計 190点				小計			
3 システム導入に関する事項							
3-1	システム構成・ネットワーク構成	システム構成図／ネットワーク構成図	10		2		
		必要な機器構成表	10		2		
		パフォーマンス劣化時等のシステム拡張手法	10		2		
3-2	セキュリティ要件	ウィルス対策、情報漏洩対策、Web改ざん対策等のセキュリティ対策	15		3		
		ユーザ認証機能の概要、アクセス制限設定の方法及びその他特徴	15		3		
3-3	バックアップ・リカバリ	システムのバックアップ方法、リカバリ手法	15		3		
3-4	その他(利用者視点)	クライアントPCの環境に依存しない工夫(特別なソフトが不要であるWeb方式等)	10		2		
		対応するクライアントOS、ブラウザ及びバージョン。バージョンアップ等、利用者環境の変化への対応	15		3		
合計 100点				小計			
4 運用・保守に関する事項							
4-1	システム保守内容・体制	平常時のシステム保守の内容	10		2		
		システム運用保守体制	15		3		
		深夜時間帯、土日祝日におけるシステム運用保守体制の考え方	10		2		
4-2	信頼性、安定稼働	信頼性、安定稼働を確保するための考え方	10		2		
4-3	トラブル対応	システムの監視・管理及び障害検知方法	15		3		
		障害発生時から復旧までの対応・手順	15		3		
4-4	その他支援	運用(職員)に係るサポート体制	15		3		
		システム改修について、システム運用保守内で対応できる範囲	10		2		
4-5	システム瑕疵	瑕疵の定義	10		2		
4-6	次期システム更新時の取扱	次期システム更新時(契約終了時)のデータ移行(汎用的形式でのデータ抽出)に関して、必要なコスト及び要する期間	10		2		
4-7	職員研修・マニュアル	職員向け研修の内容・回数等。作成するマニュアルの種類と対象	15		3		
合計 135点				小計			
	合計			500		100	